

平成23年3月

梅津靖江 学位論文審査要旨

主 査 前 田 隆 子
副主査 池 田 匡
同 吉 岡 伸 一

主論文

看護学生と看護職の思いやり行動と自我状態の比較

(著者：梅津靖江、吉岡伸一)

平成23年 米子医学雑誌 62巻 掲載予定

審 査 結 果 の 要 旨

本研究は看護専門職に必要とされる思いやりが、看護教育のなかで育まれるものなのか、あるいは職業を通じて身についていくものなのか、看護専門学校に通う看護学生と病院に勤務する看護職を対象に、思いやり行動と自我状態に関する質問紙調査を行って比較検討したものである。その結果、看護学生と看護職との間で思いやり行動や自我状態に有意な差がみられ、また、看護職の経験年数と相手の立場に立つ思いやり行動と批判的親の自我状態と正の相関関係がみられた。しかし、エゴグラム・プロフィールはともにN型で、ともに理想の看護職のエゴグラムとは異なっていた。思いやり行動尺度と養育的親の自我状態との間に相関関係がみられ、養育的親の自我状態を高めることにより思いやり行動が高まる可能性が考えられた。本論文の内容は、看護基礎教育及び臨床看護の分野で、思いやりを育むための看護教育の在り方について重要な示唆を与えるものであり、明らかに学術水準を高めたものと認める。